

平成24年度 大田区区民協働推進会議（第七回）

次 第

平成25年3月5日（火）

18時半～19時半

本庁舎 801 会議室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 「平成23・24年度 大田区区民協働推進会議 活動報告」について
- 4 その他
被災地支援の報告等

【出席者】

青木委員 大塚委員 平林委員 北間委員 中島委員 伊藤委員 神田委員 保知委員
遠藤委員 田中委員 山本委員

地域振興部地域力・国際都市担当部長、区民協働担当課長、地域力連携協働支援員
区民協働担当

区民協働推進会議（第七回）会議録 平成 25 年 3 月 5 日（火）

事務局 議事録作成のため、本日の会議を録音させていただきますのでご承知ください。

定刻になりましたので、第 7 回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。

本日、委員 11 名の方全員にご出席いただいています。会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。はじめに、地域力・国際都市担当部長からご挨拶を申し上げます。

部長 《あいさつ》

事務局 つづきまして、会長にご挨拶をお願いいたします。

会長 《あいさつ》

事務局 ありがとうございます。資料の確認をお願いします。

—資料確認—

この後は、会長に進行をお願いします。

会長 それでは会議を始めさせていただきます。お手元の会議次第に沿って進めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。最初に「今期の推進会議活動報告」について、事務局より説明をお願いします。

支援員 活動報告案について簡単に説明します。平成 23 年度、24 年度にそれぞれテーマを設けました。平成 23 年度は助成金事業の検証を行い、それにともなって募集や審査について改正を行いました。24 年度のテーマは高齢者や子どもの居場所づくり・サロン活動の事例を通して、連携・協働のポイントを探るということで、10 の事例を調査しました。報告書案の 14 ページが考察です。20 ページには、みなさんの意見から提言をまとめています。

—資料にそって説明—

資料 1 に、報告書にいただいた意見と対応案をまとめています。委員から、「信用」ではなく「信頼」の表現が適切ではないかというご意見をいただきました。この活動報告では、事例研究をもとに、連携・協働に至るプロセスで必要なことを述べています。まさに、ご意見にある初期段階に当たるため、「信用」の意味合いになります。また、会長から、表現についてわかりづらいところがあるということで、修正を加えました。論点 1 の人件費では、結論にいたった理由を論点 1 の〔意見〕に続いて、追加します。書式を合わせるため論点 2, 3 にも追加します。このように、対応させていただければと思います。

会長 ただいまの説明内容につきまして、質問・意見等がございましたら発言願います。

委員 はじめに、この報告書を読んでいただく方にわかるように、地域力応援基金助成事業の説明をいれたほうがよいと思います。細かい点は良く書かれていると思います。高齢者や子どもの居場所は委員も見ることがあった方がよかったですと思いました。

事務局 テーマの調査について、次期は、委員の方にも参加してもらうことを考えます。

会長 このようなまとめまでできたことは良かったと思います。会議の活動が実ってきた感じがします。これからは、いくつかできてきたものを、推進していくことが大変になると思います。物、金、人も自立して、協働で実施する、そこまでいくのは道のりが長いですが、一つずつ築いていると思います。報告書をまとめられたのは本当に良かったと思います。

部長 始まった頃は、模索しながら進めていました。それは大事なプロセスだったと思います。平成 23、24 年度は、一定の解決方法を見出しながら、少しずつ歩んでこられたのはありがたいと思います。すでに、平成 23 年度に話し合った結果も活かされているし、平成 24 年

度の事例研究も活かせるという印象を持っています。NPOの活動も活発です。論議してきたものが実現できればよいと思っています。

会長 集大成できたと思ってもらえればよいと思います。26日に報告書を区長に提出する予定です。2年間実のある委員会だったと思います。

支援員 報告書についてご意見がありますか。

委員 平成21・22年度の報告書についてですが、総括がなされなかったのも、この中の提言をどう発展させていくのかがわかりません。また、区の組織は、縦割りの弊害があると思うので、横断的な取り組みが記載されているとよかったです。また、防災塾は、東松島に泊まりでのボランティア活動をした人のみが参加できることになっていたのも、壁が高かったように思われました。

委員 団体の内部は、動きが硬直しています。連携・協働をすすめることが、新鮮になっているが、賛否両論です。

委員 2年間ありがとうございました。会議の内容は勉強になりました。団体の活動ばかりだと世界が狭くなってしまったと思いました。

委員 自分が接点になり、伝えていきたいと思っています。

委員 団体の活動が広がっています。区民活動と地域や区とのかかわりが増えてきていると思います。事例研究については、写真が入っているのもっとわかりやすくなると思います。

委員 ふれあいサロン虹の部屋は地域のほこりです。応援しています。

委員 工業会からきました。あまり委員としてお手伝いできなかったように思います。世田谷に住んでいますが、自分の区では、高齢者の活動の情報が入ってこないです。大田区でも、区報で協働を訴えていくとよいと思います。

委員 昔、協働に関わっていた頃とは様変わりしたと思います。青少対も創立60周年ということで長く活動していることに胸を打たれました。NPOと自分の関わりも20年たちました。世の中はずいぶん変わってきています。同じことをやっていると思直してしまうと思います。今の時代にあった活動が大事だと思います。1月のフォーラムの賑わいがあり、変化を感じました。今後に期待したいと思っています。

委員 青少対からの代表で推進会議に参加しました。またたく間に過ぎたような気がします。在任中、3つの団体の経過観察に行きました。委員の活動について、実際によく理解できるようになるには、2年くらいかかるように思います。新しく委員になる方に説明しておく必要があると思います。

委員 NPO・区民活動フォーラム、地域力応援基金助成事業団体の一覧を報告書に載せた方がよいと思います。

事務局 推進会議の報告書として、取り組んできたこと、助成金団体のこと、フォーラムのことなど何冊かに分けて作成するなどプランを考えてみます。

委員 私は小金井市に住んでいます。市では、取り組みがなかなか進みません。大田区は、進んでいると思います。大田区での取り組みを小金井市にもちかえりたいと思います。25年度のジャンプアップ助成では、どんな成果がでるのか気になります。東松島市への被災地支援は貴重だと思います。続けて欲しいです。勉強させていただきました。ありがとうございました。

会長 ありがとうございました。実のある報告書になりました。別冊で写真等をつづったものを検討してください。最後に「被災地支援」について、事務局より報告をお願いします。

課長 被災地支援は連携・協働で進めたものと理解しています。お配りした被災地支援ボランティア調整センターの最近の動きにまとめています。簡単にご説明します。区内被災者支援の動きとして、3月に池上梅園に行く予定です。聞き書きの会も最後の印刷にはいろいろとしています。現地支援では東名地区ふれあいセンターができ、大田区のランチ交流会にあわせて開所式を実施しました。また、復興支援ウィークとして3月下旬に東急プラザ蒲田で東松島の匂をお届けする東松島復興支援マルシェを開催します。大道芸の方もボランティアとしてマルシェを応援します。見に来て下さい。ボランティア活動の報告や写真パネル、映像展示もします。ご報告は以上です。

会長 ただいまの説明内容につきまして、質問・意見等がございましたら発言願います。また、その他何でも結構ですので、ご発言があればお願いします。
それでは、この辺で会議を終了させていただきます。皆様、本日はありがとうございました。事務局願います。

課長 2年間ありがとうございました。

部長 《あいさつ》《終了》